

スピリット

～農業委員会活動へ

若い農業者の意見を反映させたい～

登米市農業委員 櫻井利光さん

各地の話題

2018年2月23日 全国農業新聞

登米市



昨年7月の改選に応募して農業委員になった櫻井利光さん（29）は、県内で一番若い農業委員であり、水稻4ha、キャベツ延べ18ha、ちぢみほうれん草2.5haを経営している株式会社櫻井農場の代表でもある。

応募のきっかけは、地域で担い手不足、耕作放棄地の拡大などの課題の中、これらに対し若い農業者がいろいろな場面で意見を発信する必要があると強く感じたからだ。

農業委員になり6ヶ月が過ぎたが、農業委員会では農地法等の許認可業務だけではなく、農地集積、耕作放棄地の解消、担い手の育成・確保等の幅広い活動には驚く毎日である。

櫻井さんは「先輩委員の方々の活動を手本に、地域農業振興のため、農業委員会を通して農業者の意見を施策に反映させたい。さらに、若い農業者が長期ビジョンを持って営農が出来るように、農業委員として各種情報の提供や経営支援活動をしたい」と、今後の抱負を語ってくれた。